

ブレックスアリーナ宇都宮 様

ブレックスアリーナ宇都宮は、プロバスケットボールリーグ B.LEAGUE で活躍する「宇都宮ブレックス」の拠点で、試合開催時は大変な盛り上がりを見せます。競技場の他、武道場や会議室なども備えており、地元の人々の交流の場としても賑わっています。今回、B.LEAGUE の試合が開催される主競技場に JBL PROFESSIONAL の小型ラインアレイ・スピーカー「VRX900 Series」と 2-Way フルレンジ・スピーカー「AM5212」、AMCRON (現 CROWN) のパワーアンプ「DCi 4|1250」、そして BSS AUDIO のプロセッサー「BLU-160」を導入いただきました。

ブレックスアリーナ宇都宮は、1979年に市営の宇都宮市体育館として竣工されました。スピーカーはオープン当時のままで古く、「宇都宮ブレックス」の試合時は仮設スピーカーの導入で対処するも、チームが望む演出は難しかったそうです。今回の改修で、競技場の天井には「VRX932LA-1」×3基+サブウーファー「VRX918S」×1基で構成されたスピーカー・アレイ計10本と、「AM5212/95」×4基が設置されました。各アレイは客席を、「AM5212/95」はコートカバーしています。以前抱えていた、場所による音量差の課題も一気に解決し、競技場全体に明瞭な音質を提供できるようになりました。サウンドもこれまでの設備とは比較にならないほどパワフルで、試合のエンターテインメント要素が格段に向上しています。

新システムは、お客様からの評判も高いとのこと。4～5千人の歓声とのせめぎ合いになる中、「高域が遠くまで届く」と、音響のご担当者様からもご満足いただいています。さらに、スピーカーを天井に常設することで、仮設スピーカーの搬入出の時間／人件費の削減につながり、運用の負担も軽減できました。

2018年9月運用開始



▲B.LEAGUE で活躍する「宇都宮ブレックス」の拠点として賑わうブレックスアリーナ宇都宮。



天井に「VRX900 Series」のアレイ計10本▶と「AM5212/95」計4基を設置し、会場全体を均一にカバーしている。



◀メインのスピーカーは「VRX932LA-1」× 3 基とサブウーファー「VRX918S」× 1 基で構成。客席を均一にカバーできるように、アレイの向きを細かく調整している。

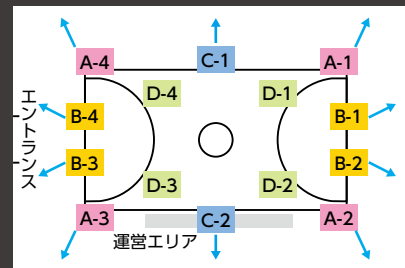


▲アンプは AMCRON (現 CROWN) 「DCi 4|1250」× 6 台、プロセッサーは BSS AUDIO 「BLU-160」× 2 台を使用。



◀「AM5212/95」× 4 基を下向きに設置し、コートへ明瞭な音を提供。

システムのレイアウト図。A～Cが▶客席用スピーカー・アレイ計 10 本、Dがコート用スピーカー計 4 基。



主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
2-Way フルレンジ・ラインアレイ・スピーカー	JBL PROFESSIONAL	VRX932LA-1
サブウーファー	JBL PROFESSIONAL	VRX918S
2-Way フルレンジ・スピーカー	JBL PROFESSIONAL	AM5212/95
パワーアンプ	CROWN(AMCRON)	DCi 4 1250
プログラマブル・デジタル・プロセッサー	BSS AUDIO	BLU-160

ブレックスアリーナ宇都宮

〒 321-0954
栃木県宇都宮市元今泉 5-6-18
<http://utsunomiya-sponavi.or.jp/facility/facility.php?id=1>